

Oliver Cann, Associate Director, Media, Tel.: +41 (0)79 799 3405 [oliver.cann@weforum.org](mailto:oliver.cann@weforum.org)

## 強靱なアジアの虎たちと活発な ASEAN 諸国、SAARC 諸国には遅れ: 競争力の面では混迷状態にあるアジア

- 香港、日本、シンガポールは、さまざまな傾向を示すアジアにおいて国際競争力レポート 2013-2014 のトップ 10 にランクインし、東南アジアは南アジアよりも順調
- 中国は、第 4 版まで連続して低調のインドより 31 ランク上の 29 位
- インドネシア(38 位)は 2006 年以来 G20 で最も進展、韓国(25 位)は 6 ランク下げた
- 148 の国と地域の情報、注目点、順位などレポートの全文は、<http://www.weforum.org/gcr> からダウンロードできます。今年度のレポート結果に関するビデオインタビューをご覧ください。

**2013年9月4日、スイス、ジュネーブ** - 国際競争力レポート2013-2014 では、シンガポールがスイスに次ぎ世界第2位となりました。その他アジア諸国では、香港SAR(7位)と日本(9位)が148ヶ国のトップ10にランクインしています。アジアの開発途上国の中では、マレーシア(24位)が最も高い競争力を有しています。第29位の中国は、四大新興市場の中では、他を大きく引き離しており、南アフリカ共和国(53位)、ブラジル(56位)、インド(60位)、ロシア(64位)より先行しています。中国とインドとの順位差は、2006年には8でしたが、現在は31と開いています。インドネシアは12ランク上げて38位に上昇し、G20諸国において2006年以来最も進展しています。しかし対照的に、3年連続で順位を下げたバングラデシュ(110位)、ネパール(117位)、パキスタン(133位)のように競争力で劣るアジア諸国も見られます。ブータン(109位)、ラオス(81位)、ミャンマー(139位)は、今回初めて国際競争力指数に含まれました。

スイス、シンガポールに次いで、フィンランドが3位にランクインしました。ドイツ(4位)は2ランク上げ、ここ4年間下降傾向にあった米国は5位に順位を2つ上げています。スウェーデン(6位)、オランダ(8位)、英国(10位)はいずれも順位を下げました。

米国は、市場に革新的な製品やサービスを提供する、世界のリーダー的地位を保っています。米国の順位が上がったのは、公的機関への信頼が増すとともに、国内の金融市場に改善が見られることが原因となっています。それでも、マクロ経済の安定性に関しては依然として重大な問題を抱えており、そのため順位は148ヶ国中の117位にとどまっています。

ヨーロッパでは、公的債務への対応、ユーロの解体を回避する取り組みなど、競争力に関するより深刻な問題に重点を置いています。南ヨーロッパでは、スペイン(35位)、イタリア(49位)、ポルトガル(51位)や、特にギリシア(91位)は、この地域での競争力の格差を埋める手段として、市場の機能と効率の弱体化に継続して取り組むとともに、イノベーションの推進と金融機関の利用の改善を行なっていく必要があります。

中近東及び北アフリカでは、カタール(13 位)がこの地域のトップを占め、初めてトップ 20 入りを果たしたアラブ首長国連邦(19 位)が続きます。サウジアラビア(20 位)は 2 ランク順位を下げていますが、トップ 20 の座は保ちました。イスラエルは 27 位になっています。エジプト(118 位)の国際競争力指数は、前年から 11 も下がりました。バーレーン(43 位)、ヨルダン(68 位)、モロッコ(77 位)も順位を下げています。この地域のほかの国では、アルジェリアが 100 位まで順位を上げ、再ランクインのチュニジアは国際競争力指数第 83 位でした。

サハラ以南のアフリカでは、モーリシャス(45 位)が南アフリカ共和国(53 位)を上回り、競争力でこの地域をリードしています。しかしこの地域の国々のうち 100 位以内に入っている国は 8ヶ国しかありません。アフリカ諸国の競争力を向上させるためには、地域全体にわたって徹底的な取り組みを行なう必要があることは明らかです。低所得国のうち、ケニアでは最も大きな改善が見られ、10 ランク上がったの 96 位になりました。ナイジェリア(120 位)は依然として下位にあり、国内経済の多様化を進める必要性が強調されます。

トップ 10	GCI 2013	GCI 2012	
スイス	1	1	→
シンガポール	2	2	→
フィンランド	3	3	→
ドイツ	4	6	↑
米国	5	7	↑
スウェーデン	6	4	↓
香港 SAR	7	9	↑
オランダ	8	5	↓
日本	9	10	↑
英国	10	8	↓

ラテンアメリカでは、ここ数年堅実な経済成長を達成してはいますが、生産率の低さが原因とされる競争力パフォーマンスの全体的な停滞が課題となっています。チリ(34位)が依然としてこの地域のトップを占め、以下、パナマ(40位)、コスタリカ(54位)、メキシコ(55位)と、比較的安定した傾向にある国々が続きます。

世界経済フォーラムの創設者兼会長であるクラウス・シュワブ氏は次のように述べています。「イノベーションは、その国が将来の繁栄を築き上げる能力という観点から、より重要なものとなります。私は、『先進国』と『発展途上国』とを区別する従来の方法は次第に姿を消していき、その代わりに『イノベーション先進国』か、それとも『イノベーション貧困国』か、という見方が主流になっていくだろうと思っています。したがって、ビジネス、政府、市民社会のリーダーたちが、イノベーションを推進することを目的として、教育システムを創出し、そのような環境を実現するために協働していくことが重要です」

また、米国コロムビア大学のザビエル＝サラ＝イ＝マーティン経済学部教授は次のように述べています。「国際競争力レポートでは、この1年間の国際経済の動向、つまり、国際的および地域的な経済政策は、相変わらず現状への対応に追われていることが浮き彫りにされています。しかし今ではこの状況は、各界のリーダーたちが広範にわたる構造改革に早急に取り組むという段階へと変化しています」

## 編集者注記

国際競争力レポートの競争力ランキングは、世界経済フォーラムが2004年に導入した、国際競争力指数(GCI)に基づいています。これは、競争力を一国の生産力のレベルを決定する諸制度、政策、諸要因の組合せであると定義し、GCIスコアは国の競争力の包括的な12の分類 - 競争力の柱 - についての公表されているデータと各国データを基に算出されます。この12の柱は次の通りです：制度、インフラストラクチャ、マクロ経済環境、健康および初等教育、高等教育および職業訓練、市場の効率性、雇用市場の効率性、金融市場の成熟、テクノロジーの応用力、市場の規模、ビジネスの成熟度、イノベーション力。報告書で使用されている分析方法については、[こちら](#)をご覧ください。

国際競争力レポート2013-2014を読む：<http://wef.ch/gcr13reader>

国際競争力ランキングをダウンロードする：(PDF or Excel format)

Facebookでフォーラムのファンになる：<http://wef.ch/facebook>

Twitterでフォーラムをフォローする：<http://wef.ch/twitter>および<http://wef.ch/livetweet>

フォーラムのブログを読む：<http://wef.ch/blog>

今後のフォーラムイベントを見る：<http://wef.ch/events>

フォーラムのニュースリリースを購読する：<http://wef.ch/news>

---

世界経済フォーラム(World Economic Forum)は、世界・地域・産業のアジェンダを形成し、各界のリーダーたちが連携して、世界情勢の改善に取り組む独立した国際機関です。

1971年に財団として設立され、スイス・ジュネーブに本部を置く世界経済フォーラムは、特定の政治、党派、国家などの利益に関与しない公正で非営利の組織です。(http://www.weforum.org)



World Economic Forum, 91-93 route de la Capite, CH-1223 Cologny/Geneva  
Tel. +41 (0)22 869 1212, Fax +41 (0)22 786 2744, <http://www.weforum.org>